

所属	人間社会学部 一般教育等	職名	教授	氏名	田中 哲也
----	--------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1978年九州大学大学院文学研究科修士課程修了、カイロ大学、カイロ・アメリカ大学留学、在シリア日本大使館専門調査員勤務後、同大学院博士後期課程中退。九州大学文学部助手をへて1992年、本学に着任、1997年より教授。2002年度、日本学術振興会カイロ研究連絡センター長。

中東アラブ・イスラーム地域を中心に、宗教社会学的フィールド・ワークから宗教史的研究、在シリア日本大使館付専門調査員として行った同地の宗派問題まで幅広く研究を行ってきた。また、中東地域に加えて、西アフリカ、インド、インドネシアでの現地調査も行った。

近年は、イスラム世界の近代化について、エジプトを事例に近代教育の導入・拡大・変容という視点から研究してきた。19世紀初頭に始まる西洋式教育制度の導入・拡大・変容がエジプトにどのような社会的・文化的・宗教的変容をもたらしてきたかについて教育史的・教育社会学的研究を行ってきた。現在これまでの研究をまとめる作業を行うとともに、「アラブの春」の原因のひとつでもあった、高学歴者の就職難や無償教育制度の空洞化にともなうエジプトにおける現代の教育・社会問題の分析も行っている。

また、移民労働者に大きく依存している中東、特に湾岸諸国の状況との関連から、グローバル化の視点からわが国も含めた移民労働者問題についての予備的研究にも着手している。

教育活動としては、専門領域と関連する科目の担当とともに、共通・教養教育の担当責任者として、その充実と改善に努めている。編集代表として学生編集委員会や他の教員とともに毎年、本学独自の「教養演習テキスト」を毎年、改訂・出版するとともに、新入学生のための「導入教育」についての調査研究も行っている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・「イギリス占領時代末期におけるアッワル学校と民衆初等教育制度」
『福岡県立大学人間社会学部紀要』第20巻第2号、2011年
- ・「イギリス占領下におけるエジプト教育再考」
『アジア教育』第4巻、2010年.
- ・「近代教育制度とイスラーム社会の変容」
『比較文明』第24巻、日本比較文明学会、2009年.

②その他最近の業績

<テキスト>

- （共著）田中哲也編『レポートの書き方入門' 12年版—福岡県立大学教養演習テキスト』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2012年（担当箇所「序章」）
- ・（共著）田中哲也編『レポートの書き方入門' 11年版—福岡県立大学教養演習テキスト』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2011年（担当箇所「序章」）
- ・（共著）田中哲也編『レポートの書き方入門' 10年版—福岡県立大学教養演習テキスト』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2010年（担当箇所「序章」）

<学会発表>

- ・「占領時代初期におけるエジプトでのイギリス教育政策再考 — 宣教師教育とコプト・キリスト教徒のメリトクラシー —」
日本比較教育学会46回大会（東京学芸大学）2010年.
- ・「グローバル化下エジプトにおける公教育の空洞化」

日本比較教育学会45回大会（東京学芸大学）2009年.

③過去の主要業績

- ・「エジプトにおける学歴病と中等教育課程」
『福岡県立大学人間社会学部紀要』第16巻第2号
- ・「エジプト現代教育研究序説—無償教育制度とブラック・マーケット—」
『福岡県立大学人間社会学部紀要』第15巻第1号、2006年.
- ・翻訳
ゲルナー, E. 『イスラム社会』紀伊国屋書店 分担（21-192、425-438、449-452頁）

3. 外部研究資金

なし

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本宗教学会、宗教と社会学会、日本イスラム学会（評議員）、日本中東学会、比較文明学会（幹事）、日本比較教育学会、日本教育史学会、日本教育社会学会、アジア教育史学会、アジア教育学会

6. 担当授業科目

比較文化論・2単位・1年・前期、教養演習・1単位・1年・前期（責任者、3クラス担当）、宗教学・2単位・2年・後期、外書講読Ⅰ・1単位・3年・前期、外書講読Ⅱ・1単位・3年・後期、イスラム社会論・2単位・3年後期、卒論指導・6単位・4年通年、地域文化演習・1単位・院1・2年・前期、地域文化研究・1単位・院1・2年・後期、日本事情B・留学生・前期（責任者、分担）、日本事情A・留学生・後期（責任者、分担）

7. 社会貢献活動

なし

8. 学外講義・講演

- ・文化庁宗務課主催 九州地区宗教担当者会議 講師 2011年7月.
- ・美萩野女子高等学校 総合科目講師 2011年7月.
- ・教員免許状更新講習会 講師 2011年8月.

9. 附属研究所の活動等

なし